大分市における流域単位でみた水害危険箇所の選定と特徴

大分大学工学部福祉環境工学科建築コース 佐藤誠治·小林祐司建築·都市計画研究室 0456018 河津恭平

背景•目的

大分市は近年多発する豪雨、台風などで頻繁に水害に見舞われている。









2004年10月18~21日/台風23号 国土交通省河川局ホームページより

大雨による水害の被害を最小限におさえるためには、水害に関する情報を共有し災害に対する意識を 高める必要があり、現在大分市では大分市洪水非難地図(以降ハザードマップ)を作成し、公開している。

このハザードマップは大分川と大野川が氾濫したときの浸水深さが示されたものである。

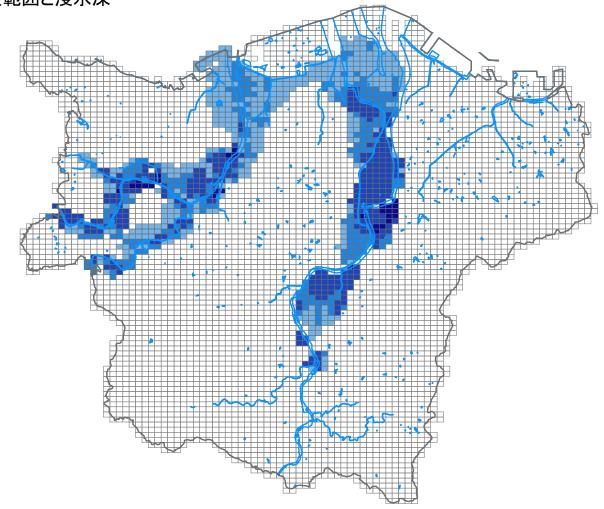
本研究ではハザードマップでは示されていない危険箇所を指摘することを目的とする。 そのため、ハザードマップと併せて、近年の水害の特徴である内水氾濫と人的被害の恐れがある箇所を 選定し、またハザードマップ外の氾濫の危険エリアを推定する。

研究フロー

過去の水害状況の把握 使用するデータの検討 250mメッシュデータの作成 データのオーバーレイによる水害危険箇所の選定 流域単位での考察 危険箇所の特徴把握と予測 250mメッシュデータ

ハザードマップ 浸水レベル

大分川水系・大野川水系が大雨によって増水し、 市内で堤防が決壊した場合の浸水想定範囲と浸水深



浸水レベル

1 浸水なし

2 1m未満

3 1m~2m

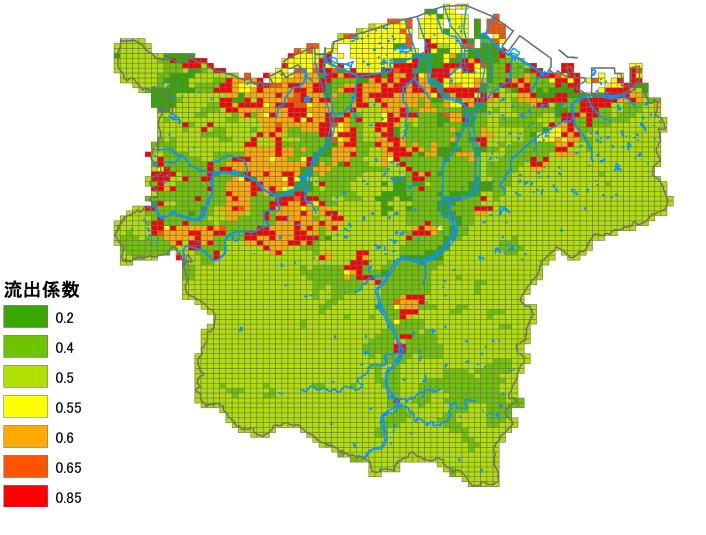
4 2m∼5m

5 5m以上

流出係数

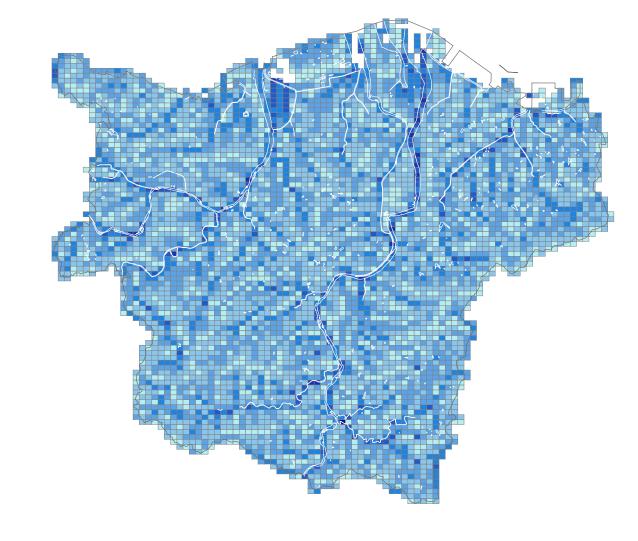
地表に降った雨水に対して流出量が大きいほど流出係数が大きい

土地利用形態	流出係数
住宅地区	0.6
商業地区	0.65
道路	0.85
学校•工場	0.55
公園・空き地	0.2
林	0.5
その他	0.4
水面	1



累積流量

標高グリッドから各セルへ流れ込むセルの数の積算したもの地形的に水の流れが集中するほど、値が大きくなる



累積流量(対数)



1.0 - 2.0

2.0 - 3.0

3.0 - 4.0

4.0 - 5.0

5.0 - 6.0

6.0 - 6.8

人口分布

住居系用途の延べ面積における住居部の占有 面積に大分市の全人口を割り振った値

人口分布(特化係数)

0.0 - 2.0

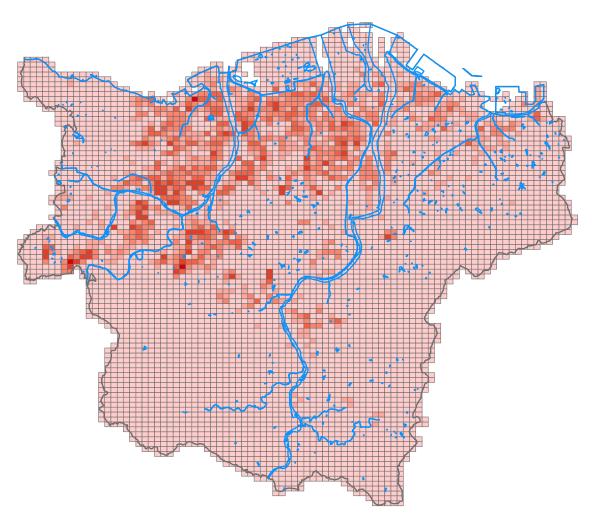
2.0 - 4.0

4.0 - 6.0

6.0 - 8.0

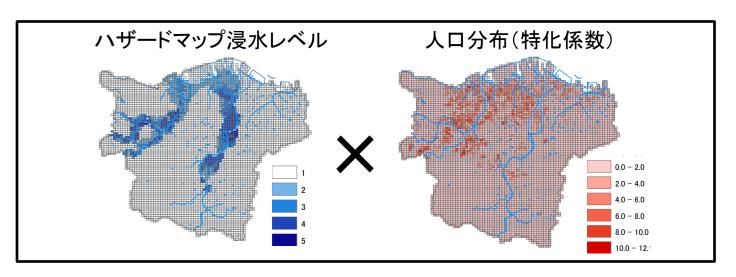
8.0 - 10.0

10.0 - 12.1

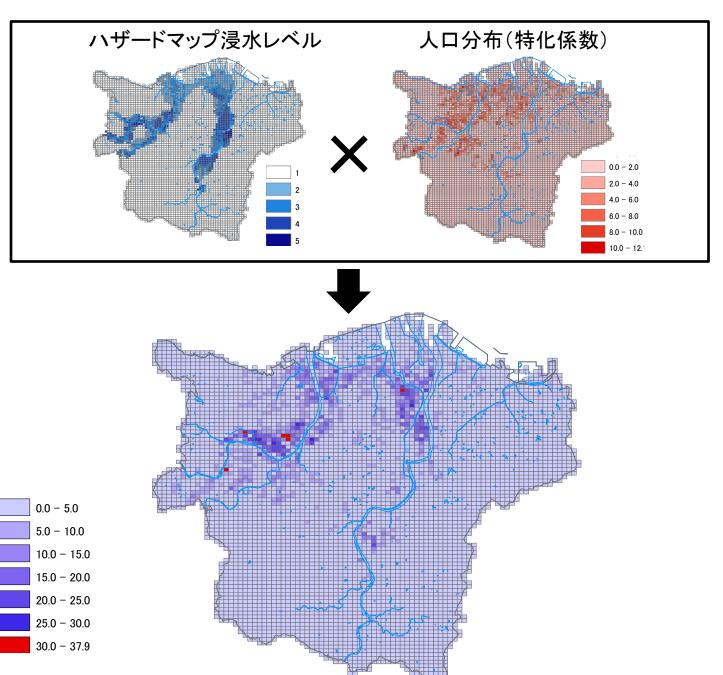


水害危険箇所の選定

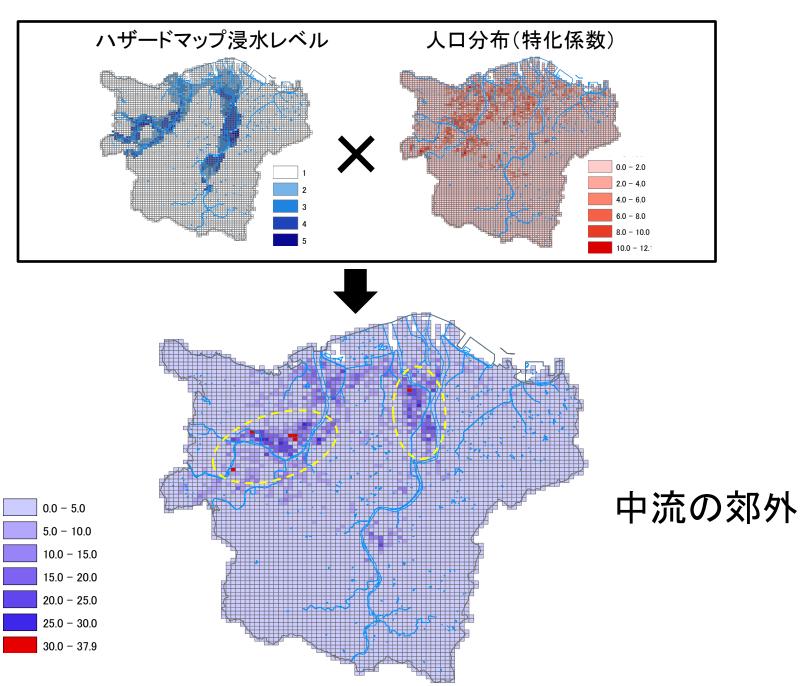
外水氾濫による危険箇所



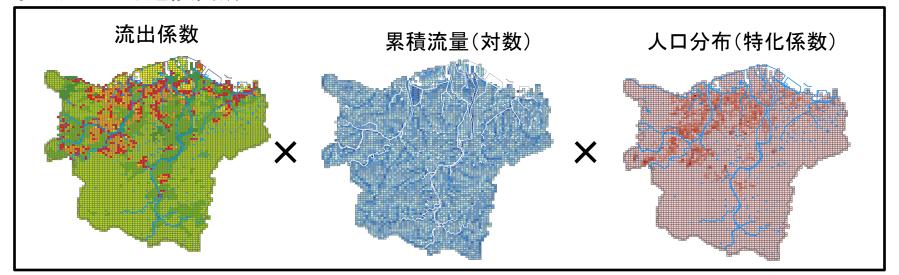
外水氾濫による危険箇所



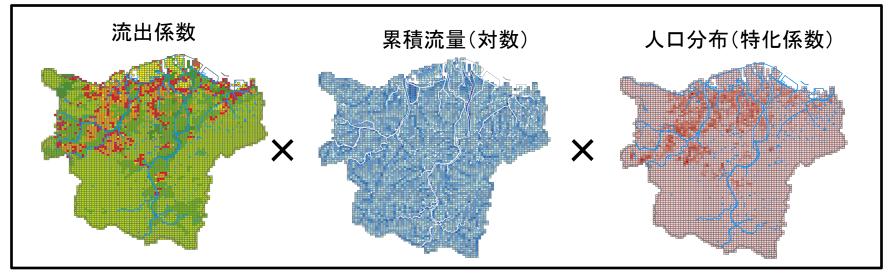
外水氾濫による危険箇所

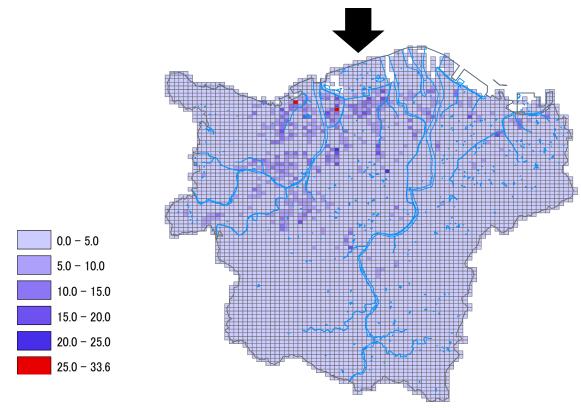


内水氾濫による危険箇所

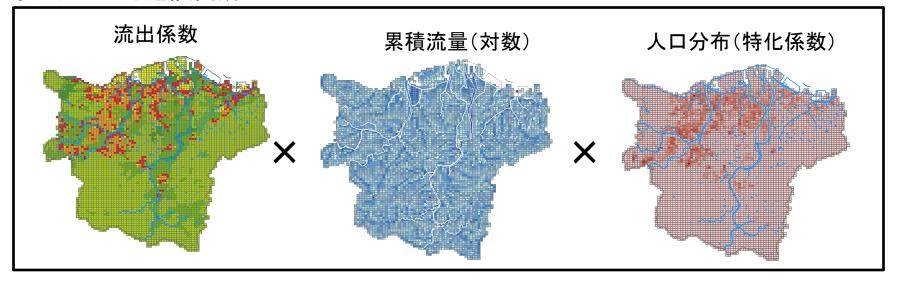


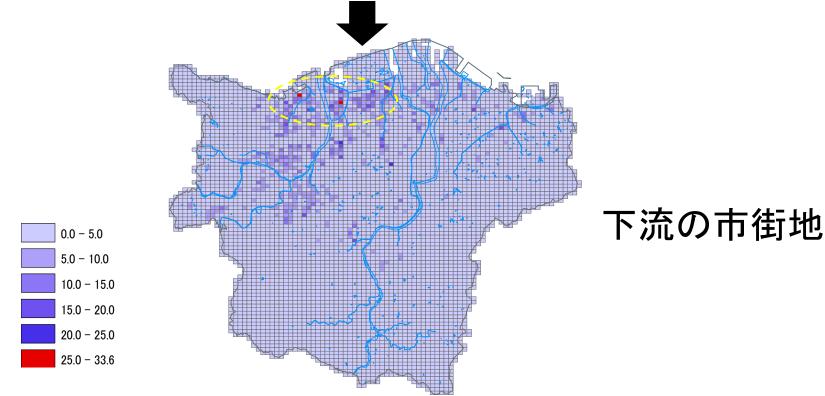
内水氾濫による危険箇所





内水氾濫による危険箇所

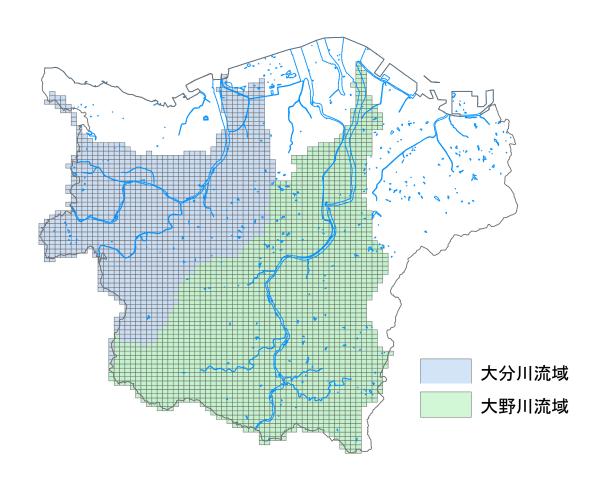




流域を単位とした分析

流域について

河川に流れ込む降水の降り集まる地域



浸水しないor浸水する

目的変量

浸水レベル1(浸水しない) 浸水レベル2,3,4,5(浸水する)

説明変量

	関数1	
	非標準化判別係数	標準化判別係数
住宅系面積	0.00020	0.77879
併用住宅系面積	-0.00021	-0.08876
商業系面積	0.00010	0.09106
工業系面積	0.00008	0.17331
公共公益施設面積	0.00011	0.14277
建物密度	-11.26224	-0.85499
木造面積	-0.00004	-0.13683
累積流量	-0.00019	-0.25090
標高	-0.00069	-0.07878
傾斜角	0.13326	0.87369
(定数)	-1.12873	

判別的中率82%

重心値 浸水しない 0.366 浸水する -1.419

浸水しないor浸水する

目的変量

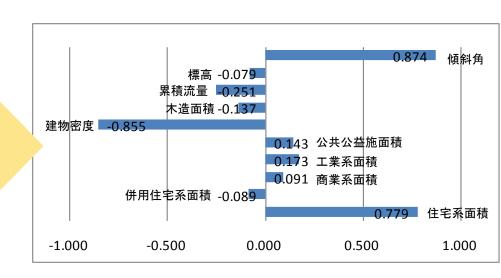
浸水レベル1(浸水しない) 浸水レベル2,3,4,5(浸水する)

説明変量

	関数1	
	非標準化判別係数	標準化判別係数
住宅系面積	0.00020	0.77879
併用住宅系面積	-0.00021	-0.08876
商業系面積	0.00010	0.09106
工業系面積	0.00008	0.17331
公共公益施設面積	0.00011	0.14277
建物密度	-11.26224	-0.85499
木造面積	-0.00004	-0.13683
累積流量	-0.00019	-0.25090
標高	-0.00069	-0.07878
傾斜角	0.13326	0.87369
(定数)	-1.12873	

判別的中率82%

重心値 浸水しない 0.366 浸水する -1.419



浸水しないor浸水する

目的変量

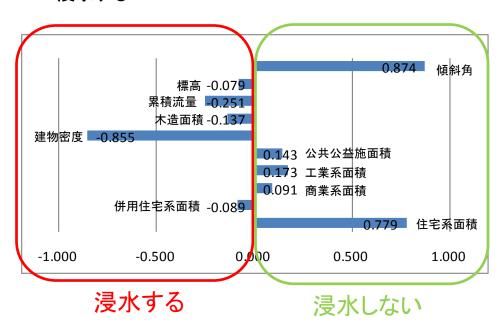
浸水レベル1(浸水しない) 浸水レベル2,3,4,5(浸水する)

説明変量

	関数1	
	非標準化判別係数	標準化判別係数
住宅系面積	0.00020	0.77879
併用住宅系面積	-0.00021	-0.08876
商業系面積	0.00010	0.09106
工業系面積	0.00008	0.17331
公共公益施設面積	0.00011	0.14277
建物密度	-11.26224	-0.85499
木造面積	-0.00004	-0.13683
累積流量	-0.00019	-0.25090
標高	-0.00069	-0.07878
傾斜角	0.13326	0.87369
(定数)	-1.12873	

判別的中率82%

重心値 浸水しない 0.366 浸水する -1.419



浸水しないor浸水する

目的変量

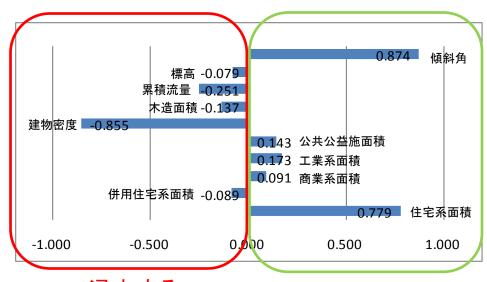
浸水レベル1(浸水しない) 浸水レベル2,3,4,5(浸水する)

説明変量

	関数1	
	非標準化判別係数	標準化判別係数
住宅系面積	0.00020	0.77879
併用住宅系面積	-0.00021	-0.08876
商業系面積	0.00010	0.09106
工業系面積	0.00008	0.17331
公共公益施設面積	0.00011	0.14277
建物密度	-11.26224	-0.85499
木造面積	-0.00004	-0.13683
累積流量	-0.00019	-0.25090
標高	-0.00069	-0.07878
傾斜角	0.13326	0.87369
(定数)	-1.12873	

判別的中率82%

重心値 浸水しない 0.366 浸水する -1.419



浸水する

建物密度

浸水しない

傾斜角 住宅系面積

浸水強度

目的変量 浸水レベル2,3(浸水弱) 浸水レベル4,5(浸水強)

説明変量

	関数 1	
	非標準化判別係数	標準化判別係数
建物密度	7.595	0.773
傾斜角	0.059	0.314
流出係数	2.459	0.479
(定数)	-2.283	

判別的中率64%

重心値 浸水弱 0.253 浸水強 -0.504

浸水強度

目的変量 浸水レベル2,3(浸水弱)

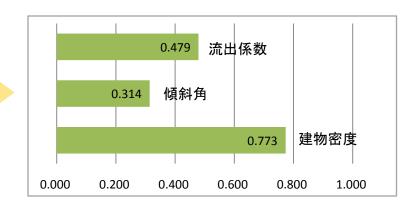
浸水レベル4,5(浸水強)

説明変量

	関数 1	
	非標準化判別係数	標準化判別係数
建物密度	7.595	0.773
傾斜角	0.059	0.314
流出係数	2.459	0.479
(定数)	-2.283	

判別的中率64%

重心値 浸水弱 0.253 浸水強 -0.504



浸水強度を下げる

浸水強度

目的変量

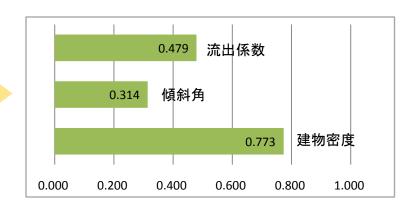
浸水レベル2,3(浸水弱) 浸水レベル4,5(浸水強)

説明変量

	関数 1	
	非標準化判別係数	標準化判別係数
建物密度	7.595	0.773
傾斜角	0.059	0.314
流出係数	2.459	0.479
(定数)	-2.283	

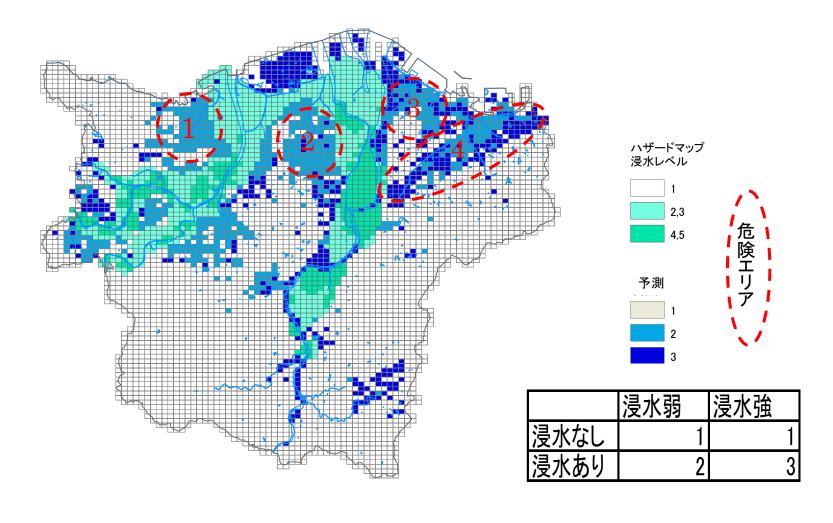
判別的中率64%

重心値 浸水弱 0.253 浸水強 -0.504

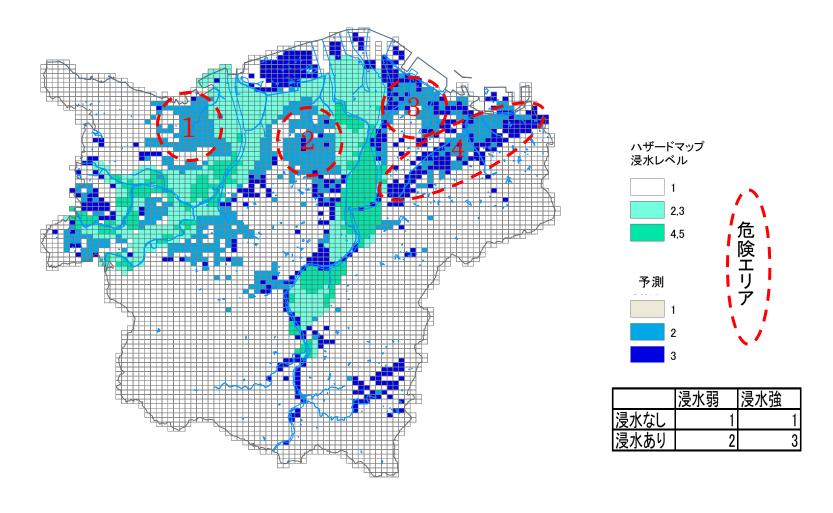


浸水強度を下げる

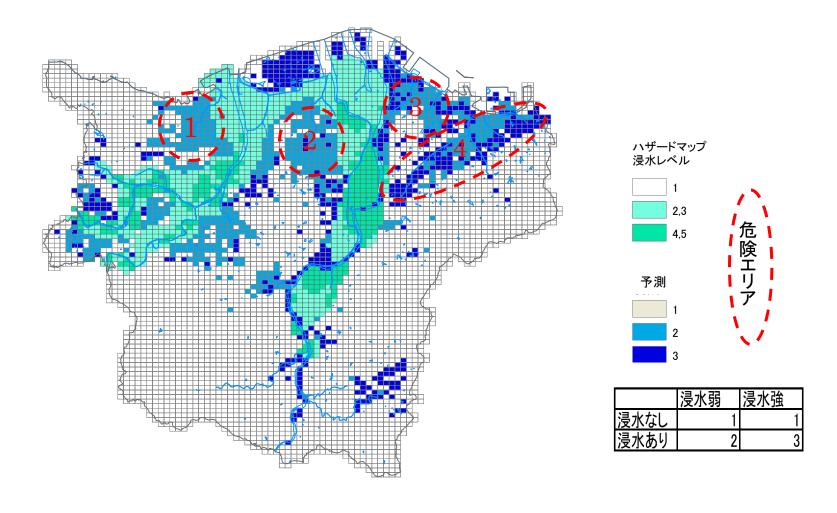
建物密度が高い箇所は浸水するが浸水強度は弱い



1 住吉川周辺 2 原川周辺 3 江川周辺 4 丹生川周辺



1 住吉川周辺 2 原川周辺 3 江川周辺 4 丹生川周辺



1 住吉川周辺 2 原川周辺 3 江川周辺 4 丹生川周辺 田室町・春日町 小池原・明野 大在

坂ノ市・丹生

結論

ハザードマップで示されてない危険箇所

外水氾濫による危険箇所 内水氾濫による危険箇所 ハザードマップ外の浸水予測

精度の向上

データを増やす メッシュを小さくする 流域を小さくする